

PRESS RELEASE

9月15日開催！総合メディカル「ファーマシーフォーラム2019」 ～全国から集まる薬剤師が優れた取り組みや成果を発表する学術大会～

当社グループの総合メディカル株式会社（代表取締役 社長執行役員 貞久雅利）は、「そうごう薬局」を中心に全国に712店舗の調剤薬局を展開しています。今年も全国の薬剤師・事務スタッフなど薬局関係者約450名が集まる学術大会「ファーマシーフォーラム2019」を9月15日に開催します。

本フォーラムは、各店舗における優れた取り組みの発表を通じて、全店舗で共有・研鑽を積み、質の高い薬局づくりに役立てることを目的としており、1998年から毎年開催しています。

ぜひ報道関係の皆さまにお越しいただき、当社グループの活動をお伝えしたいと存じます。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

（一般の方のご入場はできませんのでご了承くださいませ。）



昨年の様子

日 程	2019年9月15日（日）9:40～17:00（9:25～受付）
場 所	福岡国際会議場（福岡県福岡市博多区石城町2-1）
テ ー マ	革新元年！さらに発揮しよう薬局の価値を！ ～私たち一人ひとりが健康づくりの担い手に～
特別講演	実践 臨床推論 ～患者の訴えと所見から考える薬物療法～ 昭和大学病院 薬剤部 助教 北原 加奈之 氏
演 題	口頭・ポスターあわせて45演題を発表。 口頭演題の内容は2～3ページをご確認ください。

今後も当社グループは、“みんなの健康ステーション”として、患者さんに選ばれる「かかりつけ薬剤師・薬局」をめざしてまいります。

本フォーラムに込められた思い

薬局に求められる機能が拡大・深化している今、私たちも変わっていかなければなりません。本フォーラムは、今まで積み上げてきた薬局の価値や役割をさらに向上させ発揮していくための、またこの先薬局としての目指すべき姿を再度認識するための場です。

薬局の価値は社会や地域に届いてこそ発揮されます。当社グループの社員一人ひとりが、健康づくりの担い手としての自覚をもち、想いを一つにその役割を果たしていくことが、地域の皆さまを幸せにしていくことにつながっていきます。

本フォーラムをとおして私たち一人ひとりの成長につなげ、よい取り組みを全国へと広げていくことで、さらなる価値向上、地域の幸せへ貢献してまいります。

演題内容

▶ 口頭<薬学管理機能向上>部門 会場：5階 501（第1会場） / 時間：9:50～16:20

時間	口頭<薬学管理機能向上>部門 発表演題
9:50～10:05	糖尿病患者への服薬電話サポートによる効果の検証 ～患者個別ケアプランを用いて～
10:05～10:20	医薬連携におけるレンパチニブメシル酸塩服用期間中の電話フォローの有用性
10:20～10:35	STOPP-Jを用いた薬剤使用状況の調査と不適切処方検討
10:35～10:50	動画を用いた乳幼児の服薬サポート
11:05～12:05	特別講演
13:20～13:35	薬局薬剤師による小児患者の保護者に対する抗菌剤適正使用の教育介入効果に関する検討
13:35～13:50	処方医と連携した不眠症患者の『BZ・非BZ系薬剤減量』への導き
13:50～14:05	点眼順序がドライアイ治療に与える影響 ～患者QOV向上のために～
14:05～14:20	処方カスケードに焦点を当てた処方変更提案におけるプロトコルの有用性検討 ～ポリファーマシーの改善に向けて～
14:35～14:50	活性型ビタミンD製剤の治療評価における補正カルシウム濃度の重要性
14:50～15:05	ポリファーマシー防止を視野に入れた有害事象を持つ患者への薬学的介入とその妥当性に関する研究
15:05～15:20	動機づけ面接を用いた電話フォロー対応の有用性
15:35～15:50	保険薬局薬剤師による不眠評価スケールを用いた睡眠薬適正使用への取り組み
15:50～16:05	患者の減薬希望から見たポリファーマシー ～薬局でのPIMs 解消をめざして～
16:05～16:20	遠隔服薬指導実施の報告 ～地域ヘルスネットワークの構築への貢献に向けて～

▶ 口頭<薬局機能向上>部門 会場：5階 502・503（第2会場）／時間：13:20～16:05

時間	口頭<薬局機能向上>部門 発表演題
13:20～13:35	薬局でもできる!他職種協働からなる健康イベントの実施 ～新たな薬局の創造～
13:35～13:50	2型糖尿病治療中患者の眼科(眼底検査)受診率は向上するか ～糖尿病網膜症の早期発見を目指して～
13:50～14:05	服薬電話サポートを通じたかかりつけ機能への強化 ～価値ある信頼できる薬局・薬剤師へ向けて～
14:05～14:20	排便状況の可視化による潜在的な問題点への介入
14:35～14:50	薬剤師による薬局の活用方法の提案 ～患者から始まる疾患進行予防への関わり～
14:50～15:05	「通院バッグ」推進活動 ～レジ袋削減の取り組み～
15:05～15:20	「オーラルフレイル」の啓発、予防のため保険薬局として関われる事
15:35～15:50	間食を止められない糖尿病患者に薬局薬剤師が出来ること～低糖質食品を用いたアプローチ～
15:50～16:05	薬業連携による認知症早期発見についての取り組み

▶ ポスター部門 会場：4階 411・412／時間：12:05～15:20
(12:05～13:10 ポスター発表 22 演題 質疑応答／ 13:10～15:20 ポスター掲示 自由閲覧)

▶ ワークショップ 会場：4階 413／時間：13:20～15:20
(13:20～14:10 学術研究スキルアップのポイント(1回目)／ 14:30～15:20 学術研究スキルアップのポイント(2回目))

(ご参考)

かかりつけ薬剤師数 878名(2019年7月31日時点)

健康サポート薬局店舗数 139店舗(2019年8月23日時点)

※日本全国での届出状況は、約1,432件(2019年6月28日時点)であり、当社がその約1割を占めています。

【本件に関するお問い合わせ先】

総合メディカルホールディングス株式会社 広報 IR 部 浅野
福岡県福岡市天神二丁目14-8 福岡天神センタービル16F
TEL：092-713-7901